

TOKYO RINRI GOLF COMPETITION

第17回 会長杯ゴルフコンペ

今年も東京都山口会長杯ゴルフコンペを開催いたします。
本コンペを通じて、倫理経営を実践されている皆様と、名門小金井カントリー倶楽部の自然の中で、新たなゲストの方とご縁を深める場として企画いたしました。今後、他のイベントも企画しますので、多くの会員の皆様、たくさんのゲストのご参加を心よりお待ちしております。

令和8年 **2/25(水)**

～東京の名門ゴルフコース～

小金井カントリー倶楽部



小金井カントリー倶楽部（以下小金井CC）が開場したのは、昭和12年（1937年）のことである。日本のゴルフ黎明期ともいえる時代に、小金井CCは誕生した。創設者は、深川喜一という人物であり、もともと深川は無類のゴルフ好きで、駒沢にあった東京ゴルフ倶楽部に足繁く通っていたのであったが、当時そこは貴族や華族階級の者たちに占有されている状態であった。そこで日本におけるゴルフ普及の使命感を持っていた深川は、「もっと庶民が楽しめるゴルフ場を作ろう」と思い立ち、小金井CCの設立に力を注いだのである。コースの設計は当時、人気プロとして活躍していたウォルター・ヘーゲンに依頼。深川は本人に会うべく建設予定地の高低図を手にしてアメリカに向かい、見取り図を日本に持ち帰った。帰国後の昭和12年、コース造営は急ピッチで進められ、わずか8ヶ月で18ホールとクラブハウスをすべて人力によって完成させた。日本が昭和20年に終戦を迎えると小金井CCは進駐軍に接収されたが、昭和29年に自営復帰を果たした。以降、小金井CCはさらなる発展を遂げて名門コースと呼ばれるに至り、現在もゴルフファンから高い人気を誇っている。昭和12年の創設時に作られた会員募集案内のパンフレットには、深川の思いを込めた以下の記述がある。「有閑者の独占遊戯とみられたゴルフが、その門戸を開放して大衆スポーツの王座を目指す時代がやってきたー（中略）ーもっと気軽に、もっと容易に、ゴルフをエンジョイ出来る倶楽部が数多く設けられてもよい筈であります」

主催：東京都倫理法人会 キャリア委員会

発行：（一社）倫理研究所 東京都倫理法人会 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-3 神田錦町ビル4階
TEL:03-6811-7840 03-6811-7841 FAX:03-6811-7135 <https://www.tokyo-rinri.net/> pre@tokyo-rinri.net (広報委員会)



東京都倫理法人会広報誌グッドモーニング

一般社団法人倫理研究所
東京都倫理法人会
TOKYO RINRI HOJINKAI

GOOD MORNING

特集①

P02

AIと倫理

AIに講話を聞いてもらった件

飯作SVと編集部、
ある土曜の午後の「実験録」

1

JANUARY
2026

Vol.433



特集②

P04

荻野洋（第三ブロック長）インタビュー
「共に生きる」をデザインする。
仲間と、地域と、未来と。

特集③

P05

野村敏之（新宿区相談役）インタビュー
新宿区で広げる「心の経営」

特集④

P06

第二ブロックアンケート
AI活用の実態調査と活用例

特集⑤

P07

第一ブロック
東京下町グルメ！MS朝食

P06

各ブロックのスローガン紹介
実践体験報告会

P10

「AIによる自己革新」第2回
オンライン活力朝礼のご案内

P11

1・2月のイベントスケジュール
編集後記

P12

第17回 会長杯ゴルフコンペのお知らせ

Dawn of AI

AIと倫理

飯作SVと編集部、ある土曜の午後の「実験録」

AIに話を聞いてもらった件

「AIに話を全部書かせる人が出てきたらどうする？」

そんな一言から、この特集は動き出しました。

一般社団法人倫理研究所法人局 飯作文俊法人スーパーバイザー（以下飯作SV）と、本誌編集長の高岡裕、そして副編集長の畠健太郎。

3人が集まった土曜の午後、私たちは実際にAIに話を“聞いてもらう”実験をしました。その驚きと戸惑い、そして見てきた「正しい使い方」を、ここに実況します。



#01 「AIに話を聞いてもらう」とは、こういうことだった

「まずは、今までの話を録音したデータから見てください」

高岡編集長が取り出したのは、小さな録音デバイス。話の音声をクラウドに上げて、自動で文字起こしをし、さらに指定のプロンプトテンプレート（定型の指示書）で要約と講評をさせたサンプルを、飯作SVに見てもらいました。そこには、

- ・苦難 → 気づき → 実践 → 体験 という倫理法人会の実践報告らしい流れをきちんと押さえた要約と、
- ・「自己紹介が長く、本題に入るまで時間がかかっています」
- ・「○○のエピソードは、もう少し具体的に話すと伝わりやすくなります」

といった、話者向けのフィードバックまで並んでいました。

「9月にChatGPTのバージョンアップがあって以降は、万人幸福の葉の条文の引用もしっかり入るようになりました」と高岡編集長。飯作SVは、この要約とフィードバックに使ったプロンプトテンプレートの内容を細かく読みながら、言いました。

「聞き手が入会したくなる話かどうか評価できないでしょうか？」
その場でプロンプトへ一行追加して比較したところ、結果は明らかに良化。
話がどの程度普及の効果を持つかもフィードバックされるようになりました。

「話で意識すべきポイントを、AIが教えてくれますね」
AIの専門家ではない飯作SVにとっても、
「実際の話をベースに、構成や伝わり方を客観的に見直せるツール」としての価値は、ひと目で伝わったようでした。

#02 その場で「何も教えていないAI」に話を書かせてみた

一方で、話題はすぐに新たな展開を見せます。
「でも、これって悪用もできますよね。何も実践していないのに、AIに“それらしい話”を書かせたらどうなるのか？」
そこで編集部は、その場で実験することになりました。まだ何の設定もしていない、まさならGemini（※Google版の生成AI）を立ち上げて、こんな指示を打ち込みます。

「倫理法人会の経営者モーニングセミナーで35分の実践報告をすることになりました。それらしい話の台本を書いてください。」
数十秒後、画面には立派な台本が現れました。
・「皆さま、おはようございます。本日は平日の早朝にもかかわらず…」で始まり
・倒産の危機や社内の人間関係の苦悩
・所属先の会長から「誰よりも先に挨拶しなさい」と指導され実践
・半年後には過去最高売上を達成
・「倫理は難しいことではありません。朝起き・挨拶・夫婦対鏡…」という結び…
倫理法人会の会場で何度も聞いたことがあるような、「もっともらしい」話が、何もなしところから組み上がっていたのです。

「型としては、よくできている。でも、これは誰の体験でもないですね。」
飯作SVは、苦笑いしながらそうコメントしました。

#03 「実践をAIに任せない」ための境界線

このとき3人の間で、はっきり共有されたことがあります。
・話の中身（体験・苦難・実践）をAIに作らせるのは、倫理から外れる。
・しかし、構成や表現、時間配分を整えるためのツールとしては、とても優秀である。

AIの使い方として、ある程度の標準パターンがあってもいいかもしれないですね、という畠副編集長の言葉もあり、3人で以下の流れを考えてみました。
・まず自分で「苦難・気づき・実践・体験」を書き出し、自分で話の台本を作る
・そこから、長さ（話のながさ）や伝えたいことなどの要点を伝えてAIに案の補足を作ってもらう
・実際に自分の言葉になるように直して、録音しながら声に出して読んでみる
・録音した内容を文字起こしさせ「話の評価プロンプト」で改善点などを含めて評価させる
・「聞き手が入会したくなるかどうかどうも評価してください」と依頼する
・これを基に考えて台本を直し、録音、改善を何度も繰り返す（途中で録音データやAI要約を会三役などに確認してもらうことも）

つまり、素材はあくまで本人の実践。
AIはそれを「聞いて」「整理し」「磨き上げる係」として使うのです。

飯作SVは、このスタイルを一通り聞いたあと、こうまとめました。

「私はAIに詳しいわけではありませんが、正しく使えば、話力をつけるための、とても優れた稽古相手になりますね。実践内容そのものをAIに決めさせないこと。そこさえ守れば、むしろ倫理の話はブラッシュアップする道具になると感じました。」

話を“聞いてもらう”ためのAIとデバイス

今回の実験で使われたのは、特別な機材ではありません。一般の会員でも使えるものばかりです。
・録音専用デバイス（ワンタッチ録音・クラウド連携）
・スマートフォンの録音機能+GeminiなどのAIでの文字起こし
大切なのは「何を言うか」より、「どう言うか」でした。



例:PLAUD note

実際に使われているプロンプト例

畠副編集長が使っている基本形は、次のような流れです。

倫理法人会の経営者モーニングセミナーでの会員による話です。話の詳しい内容を、文字数の制限なく、ブログ等であとから他者が読んでも分かるようにまとめます。見出しに太字を使うなど見やすい工夫をし、印象的なセリフなども抜き出します。
倫理法人会の話は「苦難→気づき→実践→体験」という構成を含んでおり、この話にも入り組んだ状態でそれが内包されているため、可能ならそれを別途取り出します。また、必要なら専門的な補足も追加します。
また、倫理法人会での学習と実践の効果、テキスト「万人幸福の葉」についても触れられている可能性が高いため、固有名詞に気をつけて要約します。聞き手に倫理法人会への入会を喚起する内容となっているかも評価してください。
最後に今後の話の改善に繋がるポイントがあれば話者本人向けのメモとして残します。

AIは“先生”ではなく、“聞いてくれる相手”として使うのがポイントです。

AI運用における注意点

AIは便利な道具ですが、入力した文章が学習に使われる場合があります。話の添削や練習に使う際は、実名・売上数字・未公開情報などは控える、または「学習されないモード」を選ぶといった配慮をおすすめします。

AIと倫理 最後に

AIは、使い方を誤れば「もっともらしい嘘」を簡単に作ってしまいます。一方で、正しく使えば、実践を深め、伝える力を育てる道具にもなります。実践は人が行うもの。AIは、その実践を照らす鏡のような存在。飯作SVの言葉どおり、主役はあくまで“人の倫理実践”です。その補助としてAIをどう活かすのか。今後も、現場からの試行錯誤を伝えていきます。

「共に生きる」をデザインする。 仲間と、地域と、未来と。

荻野洋 第三ブロック長インタビュー



東京都倫理法人会には、胸に温かい思いを抱き、仲間と共に歩む会員が多くいらっしゃいます。創業50年を迎える保険代理店の二代目経営者であり、複数の団体に活躍しつつも12単会を束ねている荻野洋第三ブロック長。お話の一つひとつから、倫理で培われた価値観を軸に、仲間や地域、そして社会とのつながりを大切にしながら、人生と事業を豊かにしている姿が伝わってきます。

「この会が本当に好きなんです。家庭的で温かい雰囲気があるんです」
「今、単会も地区も、活動がとても楽しいです」
「自分の会社と“共に生きる”という理念を胸に活動しています」

原点は「人」。家族から仲間へとつながる思い

#01

荻野氏は、所属単会が100社復帰できた理由について「一人ひとりが主役になれる環境づくりがあるからです」と話します。

「父は創業者として保険一筋、母も保険会社の社員。共働きだったので、私は祖父母に育てられました。家族がそれぞれの役割を果たす環境で育ち、“自分の役目を果たす”ことが自然と身についたと語ります。義務感から始まった役割も、仲間との経験の中で主体性へと変わり、「この会が好きです」という純粋な思いが大きな力になっていったそうです。

一方で、仲間内だけに閉じこもることの危険性にも触れます。

「井の中の蛙にならず、地区やブロックという広いコミュニティとつながることが大切です。その場をつくるのが役員の務めだと思っています」

倫理の学びを社会へ。地域貢献とSDGsの広がり

倫理での学びは、会の枠を越えて社会へ広がっています。

「中小企業だからこそSDGsに取り組む意味があるんです」。理念「共に生きる」を胸に、障害者支援団体の全国委員長を務めるようになり、全国の現場を訪ねながら声に耳を傾けています。その姿勢は、まさに純粋倫理の実践そのものです。

また、趣味のバンド活動を通じて地域団体の改革にも携わり、高齢化が進む組織の未来を考えて行動されています。
“人のために動く”姿勢は、倫理の精神そのものです。

保険という「形のない価値」を扱う仕事だからこそ、お客様の想いに寄り添うことが求められます。「安心」や「信頼」を届ける仕事において、倫理で磨く“人間力”が深く響いていると感じられます。



取材班: 大下委員(新宿)/小林委員(杉並区東)/石原委員(練馬区)/川崎委員(練馬区)

令和の倫理をデザインする。AIと共に歩む未来

#03

複雑化する社会と急速に進化するテクノロジーの中で、荻野氏は積極的にAIを活用されています。

「議事録から英語スピーチまでChatGPTを使っています。自分で作るより上手なんですよ」と笑顔で話されます。

AIに任せられるところは任せ、その分できた時間を仲間との交流や活動の質向上に充てているそうです。

「倫理もAIも、使い方を誤れば反発を招きます。大切なのは、どう受け止めてどう活かすかなんです」

AIが日常に浸透する今、倫理が照らす“人としてのあり方”は、より存在感を増していきます。荻野氏は「令和の倫理」をテーマに新単会の設立にも取り組んでおり、現代にふさわしい倫理の形を模索し続けています。

**家族から仲間へ、地域から社会へ。
倫理を羅針盤に進む荻野氏の歩みは、これからも続いていきます。**

「新宿区で広げる“心の経営”」 会の危機から始まった、地域密着の普及活動

野村敏之 新宿区相談役インタビュー

新宿区倫理法人会での会長3年目は会場費の大きな値上げという会の存続を揺るがす緊急事態に直面しました。しかし私は、これを新宿という地域に根ざす倫理の普及を本気で実践する好機にしたいと捉えました。

歴代会長と連携し、新宿地域の歴史を支えてきた「百年企業」への会社訪問を行いました。「職場の教養」を携えて倫理法人会を知ってもらうべく毎月の訪問を重ねました。伝統企業の精神を直に感じたり、「倫理」をご紹介します中で、新たなご縁が次々と生まれました。会員の次世代のご家族が参加されるなど、後継のバトンが倫理運動を通じて繋がったと感じられたことは、大きな喜びとなりました。

同時に重視したのが「内的な普及」です。名前で呼び合い、先手の挨拶、ゲストをエスコートするパディ制度の導入など、新入会員の一人ひとりが“歓迎されている”と実感できる雰囲気づくりに力を注ぎました。

会の運営では、役員を信じて「委ねる」ことを意識しました。役員会を会員にも公開して全員参加型の運営を行い、会の窮状を共有して協力をお願いしました。MSも準備からの参加を呼びかけ、学びを深める場として定着したい思いでした。

トップダウンではなく問いかけを通じて会員が自らの主体性を引き出して学びの意義を体得してもらえるように努めました。一人一人が明朗で活気のある雰囲気がさらに醸成されて行きました。「心の故郷」のような会を目指して、これからも新宿の地で倫理運動を実践してまいります。

AIと倫理法人会の普及活動

AIを味方につけて、喜びから動くリーダーへ

AIの登場は、倫理法人会の普及活動にも新たな可能性を開いています。

AIが導き出した普及先の提案は、成長著しいスタートアップ企業への訪問でした。

しかし、私はそのアドバイスよりも、地域を回り感じた地域性や、歴史ある百年企業が持つ倫理との親和性に着目して直感に従うことを選択しました。結果として、百年企業への普及は成功し、実際に入会へとつながるケースが生まれ、確かな成果を作ることができました。

大切なのは「普及をどう捉えるか」。やらされ感ではなく、どうすれば、前向きに喜んで取り組めるかをAIに問いかけることで、意外なポジティブな気づきを得られることがあります。

「どう伝えれば圧力なく想いが届くか」といった声かけの工夫や方法も、今はAIが教えてくれる時代。倫理は相手を変えるのではなく、自分を磨く学び。

AIも私たちの自己革新を加速するための心強いパートナーになります。

取材班: 清水委員(武蔵野市三鷹市)/齋藤委員(町田)/山岸委員(小金井)

#02

AI活用の実態調査と活用例

第二ブロック

急速に広がり続けるAIの活用は、東京都内の倫理法人会にも及んでいます。他の単会ではどのようにAIが使われているのか、具体的な成功例を知りたいという声が聞かれるようになりました。そこで、AI活用の全体像をアンケート調査を通して把握しました。その結果をもとに、実際に現場でAIを活用している単会を訪ね、導入の背景から運用の工夫、得られた成果までを取材しました。本稿では、いま起きているAI活用のリアルをお届けします。以下に、第二ブロックを対象としたアンケート調査の結果と、ユニークな取り組みをしている文京区倫理法人会の取り組みをご紹介します。

第二ブロックアンケート

Q1: AIを使った取り組みをしていますか？

はい 6: いいえ 3 (今回の有効回答数: 9単会)

Q2: どのような場面で活用していますか。

- ・講話をAIで編集しレポートとしてHPにアップ(湯島)
(※講話者に事前了承をいただいています)
- ・講話者資料(配布レジюме)に活用(紀尾井町)
- ・Facebook投稿のブラッシュアップ(青山)
- ・業務(メール、文書作成、調査)、チラシ作成など(霞が関)
- ・登壇者の話の要約(港区)
- ・AIによるオリエンテーション用オリジナル楽曲の制作(文京区)

Q3: 今後どんな風に活用したいですか。

- ・①普及拡大 ②会員交流 ③MS含む各セミナー用のチラシとレポート(赤坂)
- ・MSのチラシの制作(青山)
- ・Facebookへの投稿などSNSでの広報(千代田区)
- ・ゲストへの誘い方集、講話者の紹介文の作成
イベント告知集客用の動画制作(銀座)



取材班: 千代田委員(千代田区)/松岡委員(文京区)/佐藤委員(紀尾井町)

文京区倫理法人会には、「広報チーム」に加え全国の単会でも珍しい「DX チーム」が存在します。リーダーの岡田幹事を中心に宮田相談役と草野会員らが活躍します。彼らの活動は、「倫理は実践・実験の場」という精神を体現し、AI時代の新しい倫理法人会の姿を示しています。

AI活用を象徴するのが、毎週のモーニングセミナーで流れるオリエンテーション動画です。AIで制作した文京区にちなんだ歌詞の明るくポップな「歌」に合わせて、会員たちの弾ける笑顔やオフショットが流れ、会場が一気に明るくなります。

歌詞は宮下会長自ら提供した会運営において大切にしているいくつかのキーワードを基に「ChatGPT」「Gemini」・「Claude」の3つのAIに作らせ、作曲は音楽 AI「SUNO」で生成。スライドはMacの「写真」ソフト、動画編集は「ファイナルカット」を使用し、独自の動画を作り上げています。

取材当日は、ちょうどその新作動画のお披露目日でもありました。制作メンバーが「動画をリニューアルしますね」と伝えた際、会員から「変えないで!」という声上がるほど。制作を担当した宮田相談役も「みんな歌えると思いますよ」と笑顔で話してくれるようにこれまでの楽曲は会員に親しまれていたといいます。

新作動画の中では、会員たちの楽しそうな映像とともに、「入会金ゼロ、月会費1万円」「縛りなし、好きな時に好きな場所で、超自由」といった説明テロップが流れます。これにより、オリエン担当者は事務的な説明に時間をせず、倫理への情熱や想いを伝えることに集中できる点も大きなメリットです。

動画に登場する会員の皆さんの笑顔が、どれも本当に楽しそうです。聞けば、寺石ゆか相談役の発案で、会員さんの笑顔を中心にMSの記録写真を撮るようになったとのこと。弾ける笑顔の写真たちは、まるで「一緒に楽しく学びましょう!」とゲストの皆さんに語りかけているようでした。こうした取り組みの成果として、ゲストからは「とにかく雰囲気が良い」「みんなが主役という理念が伝わる」と高く評価されています。AIによる楽曲と映像が、文京区倫理法人会の「温かさ」を直感的に伝える役割を果たしているのです。

文京区倫理法人会 DX チームのチャレンジは、AIを「道具」として倫理法人会に新しい風を吹き込み、これからの会の在り方に新たな可能性を広げていくことでしょう。

「AIが拓く新しい倫理法人会」 文京区DXチームの挑戦

取材当日の参加者の声

木村光範(大江戸地区長):

AI動画を作るという過程も含めて良い企画だと考えます。新しいことにチャレンジすることができるのが素晴らしいことです。

周佳怡(新宿区):

AIの感じがとても新鮮でした。途中からすごい良い音楽になって驚きました。また、朝日が昇るのワードが、個人的にとても印象的でした。

徳野侑子(文京区、当日のオリエン担当):

新しくなった動画は、しのぶ会長の思いが温かく、そのお陰で、オリエンテーションを素直に行うことができたと思います。時がつながる動画だと思います。

オリエンテーション動画制作の流れ

- Step.1 歌詞のキーワードを出す
- Step.2 Gemini ChatGPT Claude で歌詞を生成
(Point: 1分なら140文字くらい)
- Step.3 SUNOで曲を生成
(Point: 10本以上作っていいものを探す)
- Step.4 写真を選択する
(Point: できるだけ会員の笑顔が弾けたものを使用)
- Step.5 Macの写真アプリでスライド作成
- Step.6 Final Cut Proで音楽と動画を合わせる



広報チームとDXチームの皆さん
菅野幹事、岡田幹事、宮田相談役、松岡幹事、草野会員他多数のメンバーが力を合わせている。

QR

オリエンテーション
動画はこちらから



第1作目



宮下しのぶ会長
作詞編

『東京下町グルメ！MS朝食』

三大欲求の一つ『食』生きていくためのエネルギーを得る欲求です。今回はその『食』にフォーカスを当て、第一ブロックのモーニングセミナーで振る舞われる朝食を広報委員が紹介します。下町グルメとは、人情味あふれる庶民的で、リーズナブルで地元の人々に長年愛されてきた手頃な価格で楽しめる、ボリューム満点でコスパが良くお腹いっぱい食べられるものが挙げられます。この機会に各単会の特色をご覧ください！『あめつちの恵みと多くの人々の働きに感謝し、命のもとをつつしんでいただきます』

城東地区 ①江戸川区

おけいち弁当 600円

『二十食限定』毎週違うメニューの彩幕内弁当。お菓子の差し入れもあるのでお茶のみの参加も可能です！



城東地区 ②江東区

くるめし弁当 500円

毎回中味がお楽しみなおにぎりにお茶付き♪週によってサンドイッチとコーヒーの日もございます！



城東地区 ③深川

亀戸 升本 1000円

『深川倫理法人会特製弁当』MS用に作っていただいている職人手作りの大人気お弁当。お茶付きです！



東都地区 ⑤上野

GO!GO!ヒカル珈琲&文明堂上野松坂屋店 500円

毎週オリジナルブレンドコーヒーと上野限定パンダどら焼きのセット♪



東都地区 ⑥墨田区

第一ホテル両国 600円

和気藹々なシェア会のお供に、ホテル特製の淹れたてのコーヒーと小菓子をご用意しております♪



東都地区 ⑦荒川区

MJはうす 500円

モンゴル料理と馬頭琴・生音楽のお店が提供する、ワンコインで食べられるMS用の特製ワンプレート



東武地区 ⑧浅草

右近屋カフェ 1500円

隅田川がきらめき、アサヒビール本社の金色の飾り、バックにそびえるスカイツリーを一望！浅草の景色をひととめに味わえる心地よき場所。



東武地区 ⑨足立区

ミサキベーカリー 500円

創業67年！早朝からお客さんと溢れている北千住のパン屋さん



東武地区 ⑩足立区西

オリジン弁当 西新井店 300円

温かみが残るお弁当の提供を心掛け、たくさんのお弁当を試し、限定10食でお得感を感じる価格設定にしました！



各ブロックの スローガン紹介

第1ブロック
下町大家族 粹に学び 粹に実践

「この街で粹に生きる」人情、笑顔、出会いが交差する唯一無二の第一ブロック。私はこの想いを胸に、仲間と共に倫理を学び、実践し、地域に根差した温かい絆を育てて参ります。行動こそが信頼の証。明るく、元気に、粹に前進します。
(首藤広行 第一ブロック長)

第2ブロック
むすべ情熱、漕ぎ出せ夢に向けて

「明夢・愛和・喜働」に実践に努め、しあわせ拡大をして参ります。
(赤木麻紀 第二ブロック長)

第3ブロック
爆笑!? 第三ブロック ストライク・スリー (笑・静・創)

「ストライクスリー 爆笑?第三ブロック」令和8年度、第三ブロックは「笑・静・創」①笑いの絶えない仲間と②静動を極め③令和の倫理を創造する!をテーマに掲げ多様性と都心力を兼ね備えた第三ブロック、3地区12単会の素晴らしい仲間たちと心をムスピ、皆さんが生きていきと倫理で実験・冒険ができるよう全力で支えていきます。ストライクスリー!!!
(荻野洋 第三ブロック長)

第4ブロック
クリエイト(つくる)・コネクト(むすぶ)・シンプル(かんそ)で第四ブロックを飛躍!

地区長・副地区長と共に単会会長と単会三役のチャレンジを応援し寄り添い成果を出します!
(森田芳男 第四ブロック長)

「この街で粹に生きる」人情、笑顔、出会いが交差する唯一無二の第一ブロック。私はこの想いを胸に、仲間と共に倫理を学び、実践し、地域に根差した温かい絆を育てて参ります。行動こそが信頼の証。明るく、元気に、粹に前進します。
(首藤広行 第一ブロック長)

「ストライクスリー 爆笑?第三ブロック」令和8年度、第三ブロックは「笑・静・創」①笑いの絶えない仲間と②静動を極め③令和の倫理を創造する!をテーマに掲げ多様性と都心力を兼ね備えた第三ブロック、3地区12単会の素晴らしい仲間たちと心をムスピ、皆さんが生きていきと倫理で実験・冒険ができるよう全力で支えていきます。ストライクスリー!!!
(荻野洋 第三ブロック長)

地区長・副地区長と共に単会会長と単会三役のチャレンジを応援し寄り添い成果を出します!
(森田芳男 第四ブロック長)

倫理体験フェスタ

困難を力に変えた4人の突破ストーリー

第一ブロック【江東区】渡辺 圭 副専任幹事

第二ブロック【文京区】田村 仁美 会員

第三ブロック【北区】渡邊 剛之 会長

第四ブロック【武蔵野市三鷹市】小河原 悠司 専任幹事

2026年1月24日(土)
14:00~16:00
(受付 13:30~)

会場 全国家電会館
東京都文京区湯島3丁目6番1号

参加費
無料

定員 200名

壁を越えて
見えてきた景色

突破の瞬間!
4人が語る
人生の転機とは

人間関係の
壁を越えて!!

心の在り方が
組織を変える



研修委員長
求 由美

企業経営や組織運営において、倫理は信頼を築く基盤となります。『倫理体験セミナー』では実際の体験談を通じて経営判断や人材育成に役立つ学びをお届けします。持続可能な社会を作るために、経営者の皆様にも是非ご参加いただき、新たな視点を共有していただければ幸いです。

主催：東京都倫理法人会 研修委員会

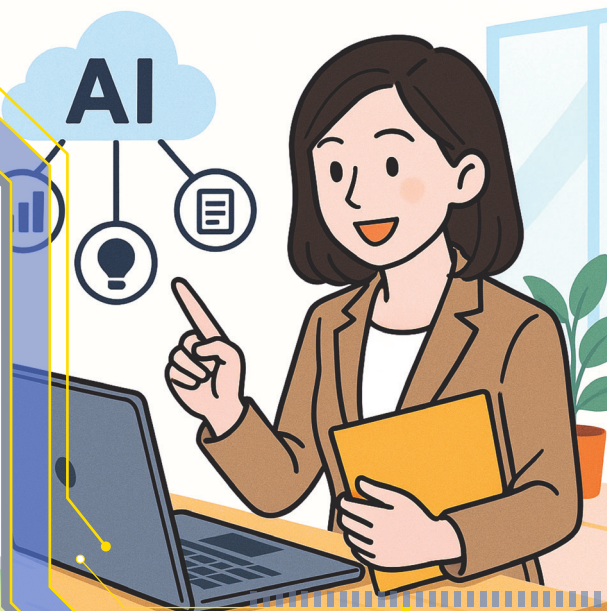
お申し込み方法
2次元コードを読み
込んで、お申し込み
をお願いします。



「AIによる自己革新」第2回 AIスキルは現代の必須教養

AI Column

+



どんな仕事にも効く、成長の秘密道具

倫理法人会では、学んだことを「知って終わり」にせず、日々の仕事や生活に生かすことを重視します。これは自己革新の基礎であり、継続的な成長の習慣です。AIスキルの習得も、この姿勢とぴったり重なります。

今のビジネスは変化が早く、生成AIを活用する力は必須教養になりつつあります。調べもの、企画づくり、文章作成など、幅広い分野で生産性を高めてくれます。私が支援してきた企業でも、業種を問わず「便利になった」という声があがっています。

ただし重要なのは、単に使えるだけではなく、AIの特性を理解し、良い問いを立て、成果を評価できること。倫理法人会での学びと同じく、実践を重ねる中で磨かれていくスキルです。

さらに、AIをうまく使えるようになると、部下への指示やフォローも的確になり、上司としての力量——いわば「上司力」も自然と向上します。これは組織全体の成長にも直結します。

執筆：あいり先生

2nd

オンライン活力朝礼のご案内 朝礼委員会：柳澤真由美 朝礼委員長

東京都倫理法人会では、毎週月曜日の朝6時30分から「オンライン活力朝礼」を開催しています。画面越しに集うだけで、週の始まりに勢いが生まれ、心身が整い、一日のスタートが驚くほどスムーズになります。

この朝礼の目的は大きく五つあります。
一つ目は、朝の時間を最大限に活かし、仕事も生活も前向きに踏み出す“スタートダッシュ”をつくること。自分自身の可能性を開き、日々の実践につなげる時間です。

二つ目は、会員以外の方にも参加を開放していることです。朝の習慣づくりに興味のある方が、オンライン朝礼を体験することで、仕事にもプライベートにも活力が湧く。その実感が倫理法人会への共感と普及へとつながっていきます。

三つ目は、忙しさや移動距離の関係でモーニングセミナーに参加しづらい方の“受け皿”となること。倫理に共感しながらも参加できない——そんな方がつながり続けられる場所として機能しています。

四つ目は、Zoomの画面に映る自分の表情を確認し、まずは自分が“明朗”であることを意識できる点です。笑顔で始まる一日は、驚くほど心を軽くしてくれます。

そして五つ目は、参加者同士が承認し合い、褒め合う文化です。“愛和”の実践はコミュニケーション力を高め、人間関係を温かく育てます。

月曜の朝は、オンラインから明るい一歩を踏み出してみませんか？



1・2月のイベントスケジュール

- 6日(火) 葉の学習会 18:45～21:00
10日(土) 後継者倫理塾(事) 9:00～17:00
青年委員会 第2回NEXT RINRI GP(吉祥寺 Rocket Joint GB)
13日(火) 青年委員会(事) 19:00～20:30
14日(水) MSクリニック(西東京) 18:30～
15日(木) 定着委員会 18:30～19:50
16日(金) 朝礼委員会(事) 19:00～20:30
17日(土) 倫理経営実践塾 / 広報委員会(事)
倫理経営講演会実行委員長勉強会(事)
18日(日) 倫理経営実践塾
19日(月) 研修委員会(Zoom) 18:30～20:00
21日(水) 女性委員会ブロック担当イベント
23日(金) **【足立区】倫理経営講演会**
24日(土) 後継者倫理塾
体験報告フェスタ(全国家電会館) 14:00～16:00
26日(月) キャリア委員会(事) 17:00～20:00
31日(土) **【新宿区】倫理経営講演会**

Event Schedule

- 1日(日) **【湯島】倫理経営講演会**
9日(月) 女性委員会(事) 10:30～12:00
10日(火) 青年委員会(事) 19:00～20:30
11日(水) MS委員会(事) 18:30～
【武蔵野市・三鷹市】倫理経営講演会
12日(木) 定着委員会(事) 18:30～19:50
【霞が関】倫理経営講演会代替行事
14日(土) 後継者倫理塾 / 広報委員会(事)
15日(日) 後継者倫理塾
20日(金) 朝礼委員会(事) 19:00～20:30
【杉並区西】倫理経営講演会代替行事
22日(日) **【深川】倫理経営講演会**
23日(月) **【江戸川区】倫理経営講演会**
24日(火) 研修委員会(Zoom) 18:30～20:00
25日(水) **会長杯ゴルフコンパ(小金井カントリークラブ)**
28日(土) 倫理経営実践塾
【足立区西】倫理経営講演会
【文京区】倫理経営講演会代替行事

(事): 場所 事務局会議室



編集後記

広報委員長 高岡 裕

今月号もお読みいただきありがとうございます。
AIと向き合う時代に、広報の在り方を改めて感じます。
小さな挑戦が一歩となり、単会と地域を照らす力となるよう努めてまいります。

広報副委員長 畠 健太郎

みなさんの協力で完成したことに感謝するとともに、私自身はさらに実践が必要なることを強く感じました。
次号はさらにパワーアップしていきます！